



平成 22 年 9 月 22 日

## 「オリーブ」

マゼン ザクオート

オリーブ（おりーぶ）の木は、パレスチナ（ぱれすちな）の主要な作物で、それによって多くの家族は生計を立てています。

オリーブからはオリーブ、オリーブ油や石鹼など沢山の製品ができます。

事実、パレスチナの輸出製品の第二位はオリーブ油です。

パレスチナの文化と生活に、オリーブは大きく関わっており、大変重要なものであり、国家の象徴であるといえます。

イスラムの伝統では、オリーブの木は神によって祝福されている存在です。

オリーブは聖書に 16 回、コーランには 12 回記述されておりそのことから理解できます。

オリーブは栄養価が高く、オレイン酸と呼ばれる自然酸を含んでいます。

オレイン酸は心臓発作と脳血栓症を予防するといわれています。

オリーブの木は、年に1-2フィート成長し、40年も経つとその高さは20-40フィートになります。そして、400年くらいの寿命があります。

写真には、世界で最も古いオリーブの木です。側に収穫ボランティアが立っておりその大きさがわかります。



オリーブの収穫は毎年10月から始まり、家族全員と友人なども収穫に参加します。

この写真はパレスチナ人の家族と友人が収穫作業時の昼食で一休みしているところです。



今日はパレスチナにとってオリーブが重要な存在であることをお話ししました。